

みや さきもり

宇都宮の防人



宇都宮駐屯地公式HP



駐屯地マスコットキャラ
『宇駐人』くん

<https://www.mod.go.jp/gsd/utunomiya/utsunomiyahp/index.html>



追悼の辞を述べる栃木県隊友会会長（左）と宇都宮駐屯地司令（右）

栃木県自衛隊殉職隊員追悼式

五十三柱の英霊に捧ぐ哀悼の誠

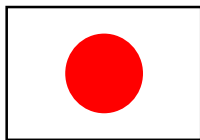


儀じょう隊（＝中央即応連隊）による捧げ銃

宇都宮駐屯地（司令＝森温 2等陸佐）は、令和6年10月4日栃木県隊友会（会長＝狩野康夫氏）の共催のもと「令和6年度栃木県自衛隊殉職隊員追悼式」執り行い、志半ばで殉職された陸海隊員の御霊に対し深い敬意と哀悼の意を表した。

ご遺族をはじめ、県知事代理、国会議員、第12旅団長代理、協力諸団体等の臨席を賜り、県内各部隊員が参列する中、殉職隊員の御芳名が奉読され、参列者による黙禱でご冥福をお祈りした後、駐屯地司令・栃木県隊友会会長・栃木県知事代理（渡辺順一様）による追悼の辞を捧げた。式典はその後、献花、儀じょう隊による拝礼・弔銃と厳かに進むにつれ、会場に降り注ぐ悲しみの涙雨は強まっていった。式典終了後の追悼会食では、ご遺族を囲み殉職隊員の在りし日のご活躍を偲びつつ、ご遺族と自衛隊相互の親睦を深めた。

第22次 派遣海賊対処行動支援隊出国



中央即応連隊（連隊長 堀口大助 1等陸佐）は、7月22日（月）宇都宮駐屯地において関係協力団体会長等臨席のもと、第22次派遣海賊対処行動支援隊出国行事を行った。

連隊長は、「日の丸を掲げ日本の代表として海外に派遣されるといふことに誇りをもって任務を完遂してもらいたい」と派遣隊員を激励した。

派遣隊員は家族と駐屯地所在隊員に盛大に見送られながら駐屯地を出発し、成田空港からチャーターターム便でジブチ共和国に向け出国した。空港では出国までの間、見送りに来た家族や隊員と別れを惜しんだ。

翌23日（火）現地入りした隊員たちは、ジブチ国際空港に隣接する自衛隊活動拠点の警備や維持管理等の活動にあたる。中央即応連隊として同任務での派遣は今回で18回目を迎えた。



駐屯地所在隊員から見送られる派遣隊員



空港での家族による見送り

満開の 花火と笑顔に彩られ…

第67回雀宮納涼盆踊り大会開催



令和6年8月6日、宇都宮駐屯地（司令 森温 2等陸佐）において第67回納涼盆踊り大会が雀宮地区自治会連合会、雀宮地区商工連合会、雀宮地区まちづくり推進協議会及び陸上自衛隊宇都宮駐屯地の四者共催により開催された。駐屯地特設会場には第307施設隊により大きなやぐらが生まれ提灯や紅白幕で彩られた。その周囲を浴衣や法被で統一した各自自治会や各部隊が元気よく踊り、恒例の打ち上げ花火が夜空に大輪の花を咲かせ、最高潮の盛り上がりでファイナルを飾った。多くの隊員がそれぞれの家族とともに、楽しいひと時を過ごすことができた。



家族で見上げる打ち上げ花火



駐屯地司令も浴衣でご挨拶



中・重砲長距離射撃訓練 方面隊訓練検閲受閲



任務達成後の東方特科連隊



任務や装備品を確認する隊容検査



林内からの実弾射撃

東部方面特科連隊第2大隊（大隊長 森温 2等陸佐）は、6月29日～7月13日までの間、中・重砲長距離射撃訓練に参加し、宇都宮から北海道矢白別演習場へ戦略機動して長射程射撃の練度維持・向上を図った。また、方面隊訓練検閲に参加し、火力戦闘に係る練度の評価判定を受けた。

宇都宮を出発した大隊は、フェリー移動を除く陸路片道500km以上にもおよび戦略機動を円滑に実施し、矢白別に到着すると大隊長要望事項「生き残って撃て。撃つた後も生き残れ。」を胸に、野戦特科部隊としての練度向上を図った。また、火力戦闘においては、林内に砲を設置し、特に上空からの隠蔽と敵を意識した行動を訓練した。訓練終了後はそれぞれの良さを活かすべく、設置した火炮について1大隊と2大隊で比較検討して、今後の訓練の資とした。

第4次・第5次隊野営 (小隊検閲)



円蓋材を使用した陣地構築



偽装しつつ警戒中

第307施設隊（隊長 近藤秀憲 2等陸佐）は、7月の第4次野営で施設小隊（C）及び施設小隊（D）の小隊検閲を、8月の第5次野営で渡河・交通小隊の小隊検閲を実施し、その練度を評価した。第4次野営では、布引演習場において施設小隊（C）が陣地構築及び障害処理を、施設小隊（D）が陣地構築及び障害構成を実施した。また第5次野営では、宇都宮駐屯地において渡河・交通小隊が重要防護施設の防護、陣地構築及び交通作業を実施した。

各小隊は、猛暑が厳しく、時に雷雨の影響を受ける環境の中であつたが、小隊長を核とし、地形や気象の状況や敵情を踏まえて創意を尽くして行動する等、日頃の練成成果を発揮して、それぞれ任務を完遂した。



グレーダによる道路啓開



地雷原処理車による障害処理

東部方面総監初度視察



厚生センター内視察



視察を終え業務隊長(左)と握手を交わす方面総監(右)



自衛隊官舎の視察

宇都宮駐屯地業務隊長(隊長 瀧瀬 智 2等陸佐)は7月24日、東部方面総監(富樫勇一 陸将)による初度視察を受けた。

宇都宮駐屯地に到着した方面総監はまず慰霊碑へ献花を捧げた後、宇都宮駐屯地司令をはじめとする出迎えた隊員に笑顔で挨拶を交わし、労いの声を掛けられた。駐屯地及び部隊の概要説明を受け、駐屯地内外の各施設を視察した総監は、業務隊長の掲げる要望事項の一つ「利用者目線でも利用者の目線に立った率直な感想を述べられるとともに、それぞれ対応に当たった隊員を激励し、駐屯地を後にした。

官用車駐車場整備工事



工事後 (after)



工事前 (before)

宇都宮駐屯地業務隊長は、7月22日(8月2日までの間)、官用車駐車場整備工事を中央即応連隊の支援を受け部隊施工を実施し、経費の節減を図りつつ勤務環境を改善した。また8月6日(9日までの間)宇都宮短期大学附属高等学校調理科36名、10月7日(15日までの間)宇都宮短期大学2名に対し、隊内生活体験(調理実習)を実施し、自衛隊に対する理解を得るとともに防衛基盤の育成に寄与した。

隊内生活体験 (調理実習)



配食(宇短大)



栄養士の講義を受講(宇短大)



裁断(宇短大附属高校)